



鳥海山・飛鳥ジオパーク構想とは、鳥海山周辺および飛鳥を範囲とし、広域的な地域の活性化を図り、日本ジオパーク認定を目指す構想です。市民のみなさんも認定に向け、一緒になって取り組んでいきましょう



3月24日、「鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会」設立総会がにかほ市役所象潟庁舎で開催されました。会では本市、由利本荘市、遊佐町、酒田市と各市町の観光協会、商工会、農協などが構成団員となり、官民一体となって活動を進めていくことなどが確認されました。

協議会の会長には横山にかほ市長が選任され「平成28年度の日本ジオパーク認定を目指す。官民一体となって取り組んでいく」と抱負を述べました。

同協議会の事務局はにかほ市役所象潟庁舎の1階に配置され、4市町からそれぞれ1名の職員が派遣されました。

問合先 鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会事務局(象潟庁舎内)
☎ 62・9777

mail info@chokaitobishima.com

ジオパークって?
おさらい

NPO法人日本ジオパークネットワークによる定義では「ジオ(地球)に親しみ、ジオを学ぶ旅、ジオツーリズムを楽しむ場所」とされています。ユネスコの世界遺産が、対象の保全に主眼を置いているのに対し、ジオパークでは、自然環境を保全しつつ、ジオツーリズムや教育、防災など各分野で活用することが求められています。地域の持続的な経済発展を目指す仕組みがジオパークです。

認定されるメリット

ジオパークに認定されると、正式にジオパークとして名乗ることができ、ジオツーリズムによる観光客増加、職業ガイド養成による雇用創出、お土産品開発などによる産業振興、子ども達への自然科学・防災教育の効果などが期待されます。

また、ジオパークは認定されることだけが目的ではなく、地域の方々が関わりを持って、自分たちのジオパークをつくることができます。

事務局職員の紹介



事務局員 佐林祐輔 (由利本荘市より派遣)
事務局員 池田智己 (遊佐町より派遣)
事務局員 相馬 央 (にかほ市より派遣)
専任研究員 岸本誠司
事務局長 佐々木好信 (酒田市より派遣)

わんぱくどきどき

入学式



4月7日と8日にかけて、市内6つの小学校で入学式が挙行されました。

新入学児童らは保護者や地域関係者が見守る中、上級生にエスコートされ入場し、少し緊張した面持ちで席につきました。

担任教師からの点呼が行われると、新入生らしい元気な返事が会場全体に響き渡りました。

その後、校長先生からの式辞では、学校生活を送る上で的心得や気をつけなければならぬことなどが語られました。

新入生らは徐々に緊張もほぐれてきた様子で、在校生からの歓迎の言葉や催し

物に拍手したり、隣のお友達と目を合わせ、笑い合う姿が見られるようになりました。

8日に行われた院内小学校入学式は、新入生はもちろん、在校生にとっても、小出小と統合後初めての入学式となり、暖かい雰囲気の中、新しい友だちとの学校生活のスタートとなりました。

また、7日には各中学校でも入学式が行われ、215人の入学生が義務教育最後の3年間をスタートさせました。

※このページでは各小学校の様子を掲載しています。

平成27年度新入学児童数

学校名	男子	女子	合計
平沢小学校	19	21	40
院内小学校	13	15	28
金浦小学校	13	16	29
象潟小学校	21	20	41
上郷小学校	6	6	12
上浜小学校	6	3	9
合計	78	81	159

平成27年度新入学生徒数

学校名	男子	女子	合計
仁賀保中学校	56	41	97
金浦中学校	16	17	33
象潟中学校	46	39	85
合計	118	97	215